

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	里山創成室
職	室長
氏名	奥本 勉

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
人の手が加わるにより、生きものにやさしい自然環境が維持されるという里山里海の本来の特性を踏まえ、里山里海での生業の創出につながる新たな価値の創造や、県民、企業、NPOなどの多様な主体の参画による里山里海づくりの推進など、幅広い分野の施策を通じ、多様な生きものが生息・生育する、いのちにあふれた里山里海を未来に継承し、人と自然が共生する持続可能な社会の構築を目指す。	



組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か				
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか				
① 里山里海の地域資源を活用した生業の創出、グリーンツーリズム等の推進による交流人口の拡大、地域の特性を活かした農林水産業の振興や、これらを複合した総合的な取組を推進する。 (里山里海における新たな価値の創造) ② 地域住民や行政だけでなく、都市住民やNPO、企業など、多様な主体が参画する新しい里山里海づくりを推進するための仕組みづくりや支援などの取組を推進する。 (多様な主体の参画による新しい里山里海づくり) ③ 県民が生物多様性や里山里海から得られる恵みについて理解し、これらに配慮した生活を送ることにつながるよう、身近な自然である里山里海をテーマとしたイベント等を通じた普及啓発や里山里海での体験学習の機会の提供などを推進する。 (生物多様性の恵みに対する理解の浸透)					
(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する				
目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
①里山創成ファンド採択件数(累計)	30 件	H24 年度	45 件	25 年度	
②いしかわ版里山づくりISO認証団体数	169 団体	H24 年度	180 団体	25 年度	
③グリーンウェイブ参加団体数	30 団体	H24 年度	30 団体	25 年度	

※グリーンウェイブ: 国連の生物多様性条約事務局が、国際生物多様性の日である5月22日に、世界各地の青少年の手でそれぞれの学校などで植樹を行うことを通して、生物多様性の大切さを理解してもらおうと考えている運動



25年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
①里山里海の資源を活用した生業の創出	「いしかわ里山創成ファンド」を活用して里山里海の資源を活用したビジネスの創出などを推進するとともに、里山保全活動に意欲的な地区の自立的な活動を促進する。
②多様な主体による里山里海づくり	企業、NPO等の多様な主体の参画を促進するため、県が里山保全活動等を認証し、活動を支援するとともに、NPOや地域団体等による森づくり活動を支援する。
③生物多様性の恵みに対する理解の浸透	生物多様性や里山里海の恵みの理解を進めるため、学校教育等での里山学習や里山里海をテーマとしたイベント等による普及啓発を進める。